



意見書

平成19年 5月 2日

国土交通省道路局長 宮田 年耕 様

群馬県桐生市織姫町1番1号
桐生市長 亀山 豊



中期的な計画の作成に伴う今後の道路政策及び整備・管理の方策について

- 現在の厳しい財政状況の中で、今後は道路行政においても更なるコストの縮減化、徹底した効率化を図る必要があると考えられますが、渋滞の解消や交通事故対策、バリアフリー化や環境対策、維持管理や改修・更新など、道路へのニーズや課題も多数見受けられ、効率的な事業展開には事業の必要性のチェック等による管理や事業の集約化が必要と考えられます。

こうしたなか、社会資本整備審議会道路分科会においても「歩行者や自転車交通、さらには道路のもつ地域空間としての役割などへの配慮」等が重要な課題として提起されており、自動車交通への依存度が高い反面、交通弱者対策等の空間確保が遅れている状況であるため、歩道等の空間確保は急務と考えられます。

これらの課題が解消できない原因として、用地確保が困難であることが挙げられますが、特に既成市街地等における事業においてその傾向が顕著であると思われます。そのようななかで、一例を挙げれば、現在の道路構造令では4種2級までの道路においては植樹帯を必置と規定されていますが、各地域の特性を考慮し、周辺に緑が多い地方部等においては設置を要しない、あるいは植樹帯による並木での対応とするなど法令等の弾力的な運用も必要かと思料します。このように地域の特徴を活かした運用により、用地協力や住民協力についても得やすくなると考えられます。

これらのことが新しい道路行政へのポイントとされている「スピーディーな政策展開」のための一助となればと考えております。

意見書

平成19年 5月 2日

国土交通省道路局長 宮田 年耕 様

桐生市長 亀山 豊文

中期的な計画の作成に伴う今後の道路政策及び整備・管理の方策について

- 現在の厳しい財政状況の中で、今後は道路行政においても更なるコストの縮減化、徹底した効率化を図る必要があると考えられますが、渋滞の解消や交通事故対策、バリアフリー化や環境対策、維持管理や改修・更新など、道路へのニーズや課題も多数見受けられ、効率的な事業展開には事業の必要性のチェック等による管理や事業の集約化が必要と考えられます。

こうしたなか、社会資本整備審議会道路分科会においても「歩行者や自転車交通、さらには道路のもつ地域空間としての役割などへの配慮」等が重要な課題として提起されており、自動車交通への依存度が高い反面、交通弱者対策等の空間確保が遅れている状況であるため、歩道等の空間確保は急務と考えられます。

これらの課題が解消できない原因として、用地確保が困難であることが挙げられますが、特に既成市街地等における事業においてその傾向が顕著であると思われます。そのようななかで、一例を挙げれば、現在の道路構造令では4種2級までの道路においては植樹帯を必置と規定されていますが、各地域の特性を考慮し、周辺に緑が多い地方部等には設置を要しない、あるいは植樹帯による並木での対応とするなど弾力的な運用も必要かと思料します。このように地域の特徴を活かした運用により、用地協力や住民協力についても得やすくなると考えられます。

これらのことが新しい道路行政へのポイントとされている「スピーディーな政策展開」のための一助となればと考えております。